

(平成24年9月分)

部 門	市況の概要
野 菜	9月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、高温の影響で品質の低下がみられ、西洋ニンジンが入荷減、長ダイコンが前年並みの入荷となった。葉菜類では、ハクサイが、需要の減退の影響により入荷減、キャベツが、好天により作柄順調であったものの、前年の入荷量が多かったことから入荷減、ホウレンソウ、レタスが、概ね作柄順調であったことから入荷増となった。果菜類では、ほとんどの品目で好天に恵まれ作柄良好であったことから、入荷増であった。土物類では、バレイショが、高温等の影響で品質低下がみられるものの入荷量は前年同期並み、タマネギが、切上がりを迎えた産地があるものの、他産地の順調な入荷で、入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年同期を4%上回った。 価格は、根菜類では、長ダイコン、西洋ニンジンとも、品質の低下等により単価安となった。葉菜類では、ハクサイ、キャベツが需要の低迷により単価安、ホウレンソウ、レタスが入荷増の単価安となった。土物類では、バレイショが品質の低下により単価安、タマネギが前年単価安であったことから単価高となった。野菜全体としては前年同期を19%下回った。 品目別には、ホウレンソウ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマンが入荷増の単価安、タマネギが入荷増の単価高、長ダイコン、バレイショが入荷量前年並みの単価安、西洋ニンジン、ハクサイ、キャベツが入荷減の単価安となった。 根菜類は、入荷が前年並み、価格は29%安となった。 葉菜類は、入荷が前年並み、価格は30%安となった。 果菜類は、入荷が15%増加し、価格は21%安となった。 土物類は、入荷が前年並み、価格は10%安となった。
果 実	9月期の果実の入荷状況は、多くの品目で、高温の影響等により入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を7%下回った。 価格は、柑橘類では小玉傾向により単価安、リンゴ類、ナシ類では入荷減の単価高、ブドウ類、メロン類では入荷増の単価安、柿類では着色不良により単価安となった。果実全体では、前年同期を14%上回った。 品目別には、ミカン、巨峰、アールスメロンが入荷増の単価安、津軽リンゴ、豊水梨、二十世紀梨、刀根・平核無柿が入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が前年並み、価格は13%安となった。 リンゴ類は、入荷が23%減少し、価格は25%高となった。 ナシ類は、入荷が17%減少し、価格は19%高となった。

	柿類は、入荷が前年並み、価格は6 %安となった。 ブドウ類は、入荷が2 6 %増加し、価格は8 %安となった。 メロン類は、入荷が2 4 %増加し、価格は6 %安となった。
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン 西洋ニンジン	北海道を中心に、青森県、兵庫県、岩手県、新潟県からの入荷。 主力の北海道産で、高温の影響で品質の低下がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、品質の低下、加工需要の低迷により、前年同期を40%下回った。 北海道を中心に、中国からの入荷。 主力の北海道産で、高温の影響で品質の低下がみられたため、全体の入荷量は、前年同期を4%下回った。 価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を12%下回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ レタス 【果菜類】 キュウリ	長野県を中心に、北海道、山梨県からの入荷。 主力産地の長野県産でおおむね生育は順調であったが、一般需要の低迷及び業務・加工需要の著しい減退により、全体の入荷量は、前年同期を16%下回った。 価格は、一般需要の低迷及び業務・加工需要の著しい減退により、前年同期を55%下回った。 群馬県を中心に、長野県、北海道、茨城県からの入荷。 各産地とも、好天により作柄順調であったものの、前年の入荷量が多かったことから、全体の入荷量は、前年同期を5%下回った。 価格は、一般需要の低迷及び業務・加工需要の低迷により、前年同期を32%下回った。 岐阜県を中心に、滋賀県、京都府、鳥取県、北海道からの入荷。 多くの産地で高温の影響により入荷減となったものの、主力産地の岐阜県産で、作柄順調で前年以上の入荷があったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を6%下回った。 長野県を中心に、茨城県、滋賀県、北海道からの入荷。 主力産地の長野県産で、好天に恵まれ作柄良好であったこと、また、台風被害のあった前年の入荷量が少なかったことから、全体の入荷量は前年同期を89%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を56%下回った。 北海道を中心に、福島県、京都府、滋賀県、愛媛県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を20%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を45%下回った。

ナス	京都府を中心に、徳島県、高知県、岡山県、岐阜県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を28%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を27%下回った。
トマト	岐阜県を中心に、北海道、茨城県、京都府、滋賀県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を11%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を8%下回った。
ピーマン	大分県を中心に、茨城県、兵庫県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を32%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を29%下回った。
【土物類】 パレイショ （メーク含む）	北海道を中心に、青森県、長崎県、京都府からの入荷。 主力の北海道産で、生育期の干ばつ、収穫前の高温と降雨の影響で品質の低下がみられたが、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を28%下回った。
タマネギ	北海道を中心に、兵庫県、中国、京都府からの入荷。 主力産地の兵庫県産で切上がりが早かったものの、同じく主力産地の北海道産で、順調な入荷であったため、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、前年が単価安であったことから、前年同期を3%上回った。
【その他野菜】 松茸	中国を中心に、カナダ、韓国、メキシコ、アメリカからの入荷。 中国産、韓国産で、入荷が順調であったことから、全体の入荷量は、前年同期を9%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、高温による需要の低迷により、前年同期を21%下回った。
栗	愛媛県を中心に、京都府、熊本県、島根県、大分県からの入荷。 多くの産地で、天候不順と雨不足の影響で肥大せず、作柄不良であったことから、全体の入荷量は、前年同期を16%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を9%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	宮崎県を中心に、和歌山県、福岡県、熊本県、愛媛県からの入荷。 多くの産地で、小玉傾向にあったものの、好天に恵まれ作柄良好であったことから、前年同期を7%上回った。 価格は、小玉傾向による単価安から、前年同期を12%下回った。
津軽 （サン含む）	長野県を中心に、青森県、岩手県、山形県からの入荷。 多くの産地で、高温の影響により、着色の遅れや日焼け果発生による品質低下がみられたため、全体の入荷量は、前年同期を25%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を29%上回った。
豊水梨	長野県を中心に、富山県、滋賀県、福島県、石川県からの入荷。 多くの産地で、高温による生育遅れのため、全体の入荷量は、前年同期を24%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を19%上回った。
二十世紀梨	鳥取県を中心に、長野県、京都府からの入荷。 各産地とも、好天により作柄良好であったものの、前年の入荷が多かったことから、入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を18%上回った。
刀根・平核無柿	和歌山県を中心に、奈良県からの入荷。 主力の和歌山県産では、高温の影響により着色の遅れがみられたため、全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、着色不良がみられたため、前年同期を6%下回った。
巨峰	長野県を中心に、山梨県、福岡県からの入荷。 多くの産地で、大房傾向で作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を6%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を4%下回った。
アールス	茨城県を中心に、静岡県、石川県、長野県からの入荷。 多くの産地で、大玉傾向であった、品質の低下がみられたものの、全体の入荷量は、前年同期を27%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を6%下回った。